

自由民主党  
京都市会  
議員団ニュース



平成20年(2008)7月1日発行  
 ■発行人/井上与一郎 ■編集長/寺田かずひろ  
 〒604-8571 京都市中京区河原町御池  
 TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091  
 http://jimin-kyoto.jp/

No.23

# 門川カラー反映

## 20年度肉付補正予算

五月市会では、二月市会の骨格予算に対し、門川カラーを反映した政策が盛り込まれ、一般会計の補正額約三百億円を中心とする二十年度予算の審議を行いました。

重点政策のキーワードは「子育て支援と教育」「環境共生」「産学公連携」の三点に力点が置かれています。また財政健全化に向けて市債の発行額を十九年度に対し、七十一億円減少させるとともに全会計の市債残高見込みは、現行会計制度(昭和39年から)以来、初めて減少しました。

総額 1兆7141億円

一般会計	6895億円
特別会計	6947億円
公営企業会計	3298億円

【参考】  
補正前の骨格予算額は次の通り。

一般会計	6595億円
特別会計	6788億円
公営企業会計	3271億円
合計	16655億円

# 不祥事根絶への取り組みリード

京都市議会では自民党の田中セツ子議員を委員長とする、職員不祥事に関する調査特別委員会を設置し、

付議事件である「不祥事根絶に向けた京都市職員の意識改革の徹底と職場風土の刷新に関すること」について

て論議を行いました。論議の主な点は、  
①大綱に掲げる取り組みの完遂について

- ②技能労務職の業務の見直し、再構築について
- ③職場に市民の感覚、視線が入るような仕組みの構築について
- ④信賞必罰の更なる徹底について
- ⑤管理監督責任の厳格化

については一でありました。なかでも特に自民党からは「市長において不祥事を発生させない厳格な制度の構築を一年以内に必ず実行し、負託を受けた市民との約束を果たすこと」を強く求めました。

## 「子育て支援と教育」「環境共生」「産学公連携」重点



市役所玄関に勢ぞろいした23人の自民党市会議員団

- (前列右から)
- 寺田一博 上京区
  - 田中セツ子 南区
  - 小林正明 北区
  - 井上与一郎 右京区
  - 富きくお 山科区
  - 巻野渡 左京区
  - 橋村芳和 伏見区
  - 西脇尚一 下京区
  - 椋田知雄 南区
- (二列目右から)
- 山元あき 右京区
  - 津田大三 中京区
  - 加地浩 北区
  - 繁隆夫 伏見区
  - 内海貴夫 東山区
  - 高橋泰一朗 伏見区
  - 加藤盛司 中京区
- (後列右から)
- 田中明秀 西京区
  - 吉井あきら 山科区
  - 大西均 左京区
  - 中村三之助 上京区
  - 西村義直 西京区
  - 田中英之 右京区
  - 山本恵一 北区

# 市民の目線で調査活動

第74代京都市会議長

富 きく お

平成二十年五月市会定例会におきまして、歴史と伝統ある第七十四代京都市会議長に就任させていただきます。

今日、議会の果たす役割はこれまでになく大きく、我々市会議員も、門川市長と良い意味での緊張関係を保ちつつ、一方で、行政に対する監視機能を一層發揮し、時代に対応する議会の権能強化に引き続き取り組んでまいります。そして、京都市政の

# さらにレベルアップする市会に

発展に向けて全力を挙げなければなりません。

そのためには、議員としての見識、能力をさらに高め、勉強の成果を議員同士が共有し、意見交換などを通じ、議会全体がさらにレベルアップすることが必要であり、そのことにより、政策や政策決定に至るプロセスを市民の皆様により明確にお示しすることができまます。そのことが、歴代議長のもとで進められてきた「市民に開かれた市会」、「魅力あふれる市会」づくりの推進につながるものと考えます。

今後とも、更なる市政発展のため、自民党京都市会議員団を



議長席(手前)から望む市会本会議場

# 同和行政終結後の行政

## 市民的理解を

### 明確な結論期待 自立促進援助金

行政終結後の行政の在り方の総点検委員会が設置され、予算も

計上されました。これは同和行政終了後の残る問題に、はつきりとした道筋を立てるものだと期待しています。その中で自立促進援助金、市立浴場、コミュニティセンター、改良住宅の建て替えなどが取り上げられています。特に自立促進援助金につ



今春完成した「うるおい館」 崇仁コミュニティーセンターを含む(下京区)

りとした道筋を立てるものだと期待しています。その中で自立促進援助金、市立浴場、コミュニティセンター、改良住宅の建て替えなどが取り上げられています。特に自立促進援助金につ

はじめとする市会議員とともに全力で頑張つてまいる覚悟ですので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

門川大作市長(答弁) 自立促進援助金制度は、市民的理解が得られる結論を早急に見出す必要があり、総点検委員会において、年度前半をめぐり中間報告をいただき、直ちに是正・改革を断行してまいります。また、コミュニティセンターについては、抜本的な検討をお願いしており、留学生センターとしての活用など、見直しを速やかに進めてまいります。

## 子育て支援どう進める

津田大三議員(質問) 今回の補正予算では、子育て支援を施策の大きな柱の一つとした。子育て支援については近年大きく変貌してきました。国での施策もある一定の効果は上げています。さらに政府は新待機児童ゼロ作戦で児童館を三倍に保育所を二倍にするプランを出しまし

た。今後どのように子育て支援を進めていかれるのかお答えください。 他方、今補正予算で打ち出された三人目以降の保育料及び幼稚園費の無料化については、残念ながら市民との共感は得られていません。今後の拡充について要望します。また、近年急増

している発達障害児について、早期発見、早期療養が最適であります。現実問題としてそういったものになっていません。今補正予算に新たに療養型の施設が計上されました。こういった施設の更なる拡充にはどんな決意で取り組まれるのか、第二児童福祉センター設置のスケジュールも含めて教えてください。

今井豊嗣子育て支援政策監(答弁) 来年度、新「京(みやこ)子どもいきいきプラン」を改定し、国の「新待機児童ゼロ作戦」等を踏まえ、あらゆる施策の融合を図り、総合的かつ効果的な子育て支援策を盛り込んでまいります。 また、発達障害については療育児童の増加に対応していくため、今年度新たに発達障害児等療育教室を設置いたします。 また、第二児童福祉センターの設置には、関係者とも十分議論のうえ、スピード感を持って、基本構想を取りまとめたいと思います。

### 津田大三議員の質問項目

- ・不祥事根絶に向けた決意
- ・補正予算編成への思いと市政運営の方向性
- ・行財政改革の取組と財政健全化の見通し
- ・同和行政終結後の行政の在り方
- ・子育て支援の進め方
- ・発達障害児への支援
- ・町家の保全・再生と観光振興
- ・「歩くまち・京都」の推進

## 「歩くまち・京都」と総合交通戦略

津田大三議員(質問) 昨年の十月に、「歩いて楽しいまちなか戦略」の一環として、大規模な社会実験が実施されました。様々な意見が出されたとおっており。門川市長は、自らのマニフェストにおいて「公共交通優先の『歩いて楽しいまち』を実現します。環境、観光、健康の観点から脱「クルマ中心」社会を目指した総合交通戦略を策定し、推進します」と掲げておられます。今予算において、「歩くまち・京都」総合交通戦略(仮称)の策定が盛り込まれています。この総合交通戦略はどこに視点を置いたものとなるのか。また、その中で「歩いて楽しいまちなか戦略」はどのように位置づけられ、社会実験において明らかとなった課題をどのように解決するのか。今後のスケジュールも含めてお答えください。

門川大作市長(答弁) 「歩くまち・京都」の実現には、幅広い行政分野で横断的に交通まちづくり政策に取り組む必要があります。このため、「歩くまち・京都」総合交通戦略(仮称)を来年の夏を目途に策定いたします。その具体策の一つが「歩いて楽しいまちなか戦略」であり、昨年の社会実験における課題の解決に向け実証実験を実施し、平成二十一年度の具体化に向け取り組んでまいります。

# 代表質疑

5月  
定例会市会

五月十六日に開会した定例会市会は二十二日に代表質疑が行われ、自由民主党京都市議員団から津田大二議員(中京区)、山本恵一議員(北区)の二氏が立ちました。

# 京都の農業をさらに振興

## 地産地消進め

### 野菜を中心とした京の食文化を提案

山本恵一議員(質問) 市民の健康な食生活を支える京都の農業をどのように振興されるのでしょうか。ご所見をお伺いいたします。

山本恵一議員(北区)

門川大作市長(答弁) 大切な京都の農業をさらに振興するため、私は、まず、農家の皆様が培われてきた高い生産技術力を生かし、「京の旬野菜推奨事業」などにより地産地消を一層進め、京野菜のブランド力をさらに高めて参りたいと考えております。そのため、生産緑地における野菜振興対策のほか、本年度から、京北地域においてパイプハウスを整備し、京都市独自の野菜で、市場評価の高い、葉とうがらしの「京唐菜」や小型トマトの「京あかね」などの生産拡大を図って参ります。また、野菜を中心とした京の食文化を提案する「京都発・食の日本創生事業」に取り組み京野菜の消費拡大を図って参ります。



パイプハウスも整備、葉とうがらしの「京唐菜」など生産拡大を図る京北地域

「京の旬野菜推奨事業」市内で生産される旬の野菜を市民に供給する体制を整備し、京都市内産野菜の伝統を守り、発展させていくための事業

### 京都市内産木材を積極的に利用拡大

山本恵一議員(質問) 公共の建物などにおける京都市内産木材の利用を拡大していただきたく存じますが、市長の御意見をお聞かせ願います。

門川大作市長(答弁) 私は、歴史ある京都の木文化を再確認し、木材の需要を拡大して、地域林業を活性化させること

### 山本恵一議員の質問項目

- ・各区の次期基本計画
- ・地域農業の振興策
- ・市内産木材の利用拡大
- ・学力の定着・向上の取り組み
- ・ボストン市との姉妹都市締結50周年事業

## 京町家の魅力を発信

山本恵一議員(質問) 来年の記念すべきアメリカ合衆国ボストン市との姉妹都市締結五十周年には京町家の素晴らしさを内外に広めるなど、五十周年にふさわしい取り組みを京都から発信すべきと考えますが、いかがですか。

山本恵一議員(質問) 「ジョー文化を子どもたちに教える教材の充実や、京町家の魅力を紹介する事業を通じて、ボストン子供博物館内の「京の町家」の更なる活用を促進して参りたいと考えております。

山崎一樹副市長(答弁) この三十年間の実績を踏まえ、本市とボストン市との姉妹都市提携五十周年を機に、京町家の素晴らしさをより幅広くボストン市民に知っていただくため、日本

な、今年は京都市の中学生の野球選手をボストン市に派遣し、親善試合やホームステイ等の国際交流を行い、また、来年はボストン市の中学生を京都に受け入れる日米青少年野球交流プログラムを実施いたします。

給体制の強化やコスト削減対策にも取り組んでいるところでございます。さらに、今後は、公共施設への利用促進を率先して行い、全庁的に市内産木材の需要を一層喚起する方針です。

学力の定着と向上  
小中一貫取り組み

山本恵一議員(質問) 「ジョー文化を子どもたちに教える教材の充実や、京町家の魅力を紹介する事業を通じて、ボストン子供博物館内の「京の町家」の更なる活用を促進して参りたいと考えております。

なお、今年は京都市の中学生の野球選手をボストン市に派遣し、親善試合やホームステイ等の国際交流を行い、また、来年はボストン市の中学生を京都に受け入れる日米青少年野球交流プログラムを実施いたします。

## 常任委員会が再編されました

### 【常任委員会の再編】

- ▽財政総務委員会は「経済総務委員会」に名称変更。
- ▽文教委員会及び厚生委員会を改編し、新たに「くらし環境委員会」及び「教育福祉委員会」を設置。
- ▽建設消防委員会は「まちづくり消防委員会」に名称変更。

### 【常任委員会の所管】

- ▽**経済総務委員会** 総合企画局、総務局、理財局、産業観光局、会計管理者、選挙管理委員会、人事委員会及び監査委員の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項
- ▽**くらし環境委員会** 環境局及び文化市民局の所管に属する事項
- ▽**教育福祉委員会** 保健福祉局及び教育委員会の所管に属する事項
- ▽**まちづくり消防委員会** 都市計画局、建設局及び消防局の所管に属する事項
- ▽**交通水道委員会** 交通局及び上下水道局の所管に属する事項

## 自民議員の所属委員会

委員長	常任委員会				市会運営委員会		予算・決算特別委員会	
	経済総務	くらし環境	教育福祉	まちづくり	普通	公営企業等	普通	公営企業等
委員長			加地 浩	加藤盛司	卷野 渡	中村三之助	寺田一博	大西 均
副委員長	小林正明	繁 隆夫	津田大三					
委員	小林正明	繁 隆夫	大西 均	井上亨二	内海貴夫	加地 浩	津田大三	内海貴夫
	中村三之助	田中明秀	加地 浩	津田大三	加藤盛司	加藤盛司	高橋泰一朗	大西 均
	西村義直	田中セツ子	田中英之	椋田知雄	高橋泰一朗	寺田一博	富きくお	加藤盛司
	西脇尚一	橋村芳和	山本恵一		吉井あきら	卷野 渡	山元あき	高橋泰一朗
								高橋泰一朗
								卷野 渡
								椋田知雄
								山元あき
								山本恵一
								吉井あきら
								西村義直
								橋村芳和

市会議員 富きくお 監査委員 高橋泰一朗  
京都府後期高齢者医療広域連合議員 西脇尚一  
人権擁護委員 加地浩、田中英之、津田大三  
都市計画審議会委員 大西均、加藤盛司、小林正明、中村三之助

※普通特別委員会の委員左欄は第1分科会、右欄は第2分科会  
※市会運営委員会の卷野議員、橋村議員は理事

委員氏名は50音順

# 地域福祉の担い手の活動内容を調査

地域社会の福祉を向上するため、民生委員や老人福祉員、社会福祉協議会、NPOやボランティア団体など、さまざまな方々が活動されています。京都市の調査では地域の民生委員や老人福祉員について「顔も名前も知らない」と答えたお年寄りが半数にのぼるという実態が明らかになりました。そこで「自民党議員団ニュース」では今回、京都市から委嘱等をされ、地域福祉を担っている(又は推進されている)委員、相談員の皆様の活動内容について特集しました。

## 安心して暮らせる地域社会をめざして

### 民生委員・児童委員 主任児童委員

**(設置の目的)** 民生委員は福祉行政の協力機関として、低所得者世帯などの支援を主な目的とし、児童福祉法の規定により児童委員を兼ねています。近年では民生委員・児童委員に地域の高齢者を取り巻く諸課題の解決に係る負担が大きくなる一方、児童虐待等の深刻化に対応するため児童福祉を専門的に担当する主任児童委員が設置されました。(平成6年)。



**(従事事務の内容)** 高齢者の見守り活動、子育てサークル等による子育て支援などの活動を通じて地域社会と孤立しがちな高齢者や子育て家庭をつなぐ役割を果たすとともに、地域での生活に困っておられる地域住民の相談に応じ、福祉施策に関する情報提供を行います。

**(選任方法)** 法令及び国通知に基づき、民生委員・児童委員、主任児童委員ともに、各学区を単位として、地元から審査選考のうえ推薦のあった候補者について、区域、市域においても審査選考を行い、そのうえで、推薦を受けた市長が社会福祉審議会の諮問・答申を経て厚生労働大臣に推薦し、厚生労働大臣が委嘱。

**(従事者数)** 2,713人(うち主任児童委員395人)

### 老人福祉員

**(設置の目的)** 地域社会において高齢者が安心して日常生活を営める環境を整え、ひとり暮らし高齢者等の福祉の向上を図ることを目的とします。

**(従事事務の内容)** 市内在住の概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者等を対象に、安否確認や相談活動を行います。

**(選任方法)** 健康で、高齢者福祉に熱意と理解があり、活動対象となる高齢者を常時訪問できる者のうち、各学区民生児童委員協議会の推薦に基づき、市長が委嘱。

**(従事者数)** 1,211人

### 身体障害者相談員

**(設置の目的)** 身体に障害のある人の更生援護の相談に応じ、必要な指導を行うとともに身体に障害のある人の地域活動の推進、関係機関に関する協力、援護思想の普及等身体に障害のある人の福祉の増進に資することを目的とします。

**(従事事務の内容)** ①身体に障害のある人の地域活動の中核体となり、その活動の推進を図ります。②身体に障害のある人の更生援護に関する相談に応じ必要な指導を行います。③身体に障害のある人の更生援護につき関係機関の業務に協力します。④身体に障害のある人に対する住民の認識と理解を深めるために関係団体等との連携を図って援護思想の普及に努めます。

**(選任方法)** 福祉事務所長の推薦により市長が委嘱。

**(従事者数)** 103人

### 知的障害者相談員

**(設置の目的)** 知的障害のある人の更生援護に関し、本人又はその保護者等からの相談に応じ必要な措置、助言を行うとともに、関係機関の業務の円滑な遂行及び援護思想の普及に資する業務を行い、知的障害者の福祉の増進を図ることを目的とします。

**(従事事務の内容)** ①知的障害のある人の家庭における養育、生活等に関する相談に応じ、必要な助言、指導を行います。②知的障害のある人の施設入所、就学、就職等に関し、関連機関へ連絡します。③知的障害のある人に対する援護思想の普及に努めます。

**(選任方法)** 福祉事務所長の推薦により市長が委嘱。

**(従事者数)** 48人

### 発達相談員

**(設置の目的)** 本人又はその保護者等からの相談に応じ、必要な措置・助言を行うとともに、関係機関の業務の円滑な遂行及び援護思想の普及啓発に資する活動を行い、発達障害のある人の福祉の増進を図ることを目的とします。

**(従事事務の内容)** ①発達障害のある人の家庭における養育、生活等に関する相談に応じ、必要な助言、指導を行います。②発達障害のある人の就学、就職等に関し関係機関へ連絡します。③発達障害のある人に対する援護思想の普及に努めます。

**(選任方法)** 関係団体からの推薦により市長が委嘱。

**(従事者数)** 20人

### 介護相談員

**(設置の目的)** 利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに、介護相談員の派遣を受けた事業所における介護サービスの質的な向上を図ることを目的とします。

**(従事事務の内容)** 介護相談員が、介護老人福祉施設等の介護サービスを提供している施設等を訪問し、サービス利用者やその家族等からの相談に応じ、サービスを提供している施設等との間に立って、問題解決に向けた手助けを行います。

**(選任方法)** 市民公募により市長が選定。

**(従事者数)** 28人

平成20年7月1日現在、京都市には51,204人の高齢者がいます。

自民党議員団ニュースは福祉に関することや、その他広く市政に関することのご意見をお待ちしています。

〒604-8571 京都市中京区河原町御池  
自民党京都市議会議員団  
E-mail : jimmin3@nifty.com FAX.257-3091